

関東学院大学大学院法学研究科・神奈川県行政書士会  
共催シンポジウム「高齢社会における成年後見制度の展望」  
9月7日（土）開催 於：関東学院大学 横浜・関内キャンパス

関東学院大学（本部：横浜市金沢区 学長：小山巖也）は、大学院法学研究科と神奈川県行政書士会による共催シンポジウム「高齢社会における成年後見制度の展望」を9月7日（土）に横浜・関内キャンパスで開催します。

厚生労働省の調査によると2025年には約471万人の認知症高齢者が存在し、団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年には約584万人に達すると推計しています。そのほか知的障害や精神障害を持つ人々の数も増加すると予測されており、そうした方々をサポートする成年後見制度の必要性が高まっています。しかし、現時点において成年後見制度には、利用者数が増加しない（そもそも制度自体が知られていない）、成年後見に対する自治体の取り組みに差が見られるなどの課題が多く存在します。

このような高齢社会における成年後見制度の課題を踏まえた上で、今後の望ましい展望について実践的な観点、学術的な視点から識者による議論を行い、広く発信することを目的に本シンポジウムを開催いたします。

**「高齢社会における成年後見制度の展望」開催概要**

主催：関東学院大学大学院法学研究科・神奈川県行政書士会

後援：関東学院大学地域創生実践研究所

公益社団法人コスモス成年後見サポートセンター神奈川県支部

日時：2024年9月7日（土）13:30-15:40（開場 13:00）

会場：関東学院大学 横浜・関内キャンパス 10階 YK-1002 教室

〒231-0031 横浜市中区万代町一丁目1番地1

（JR・横浜市営地下鉄「関内駅」より徒歩2分）

プログラム：

13:30 開会

13:35～14:00 基調講演「成年後見制度の現状と課題」

田後 隆二 神奈川県行政書士会長

公益社団法人コスモス成年後見サポートセンター理事長

同神奈川県支部支部長

14:10～15:40 パネルディスカッション「高齢社会における成年後見制度の展望」

15:40 閉会

〈シンポジウムに関するお問い合わせ〉

関東学院大学 学部庶務課（関内）：045-306-9333

**関東学院大学 概要**

1884年横浜・山手に米国人宣教師が創立した横浜バプテスト神学校が源流。1949年の学制改革により関東学院大学となる。現在では、国際文化、社会、法、経済、経営、理工、建築・環境、人間共生、教育、栄養、看護の11学部を設置する総合大学。学生数 10,968名（2024年5月現在）学長 小山 巖也（こやま・よしなり）

**取材等に関するお問合せ先**

関東学院大学 広報課 星野 洋平

TEL：045-786-7049

FAX：045-786-7862

[kouhou@kanto-gakuin.ac.jp](mailto:kouhou@kanto-gakuin.ac.jp)